SONY

2-652-380-02 (2)

お客様・販売店様・特約店様用

壁掛けユニット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

⚠警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様・特約店様へ

壁掛けユニットの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧の上、設置を行ってください。取り付け不備や、取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様に渡してください。

指定機器

液晶デジタルテレビ	KDL-46X1000　KDL-40X1000 KDL-40V1000 KDL-40S1000

上記以外の指定機器をお使いの場合は、必ずテレビ本体付属の別冊「本機を壁にかけて使う」をあわせてご覧下さい。

SU-WL51

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災･感電･転倒･落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、火災･感電･転倒･落下などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号		行為を禁止する記号
火災	感電	禁止

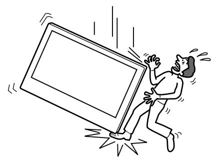
お客様へ

⚠警告　火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災･感電･転倒･落下などにより死亡や大けがの原因となります。

取り付け工事は専門業者に依頼する また取り付けのときは幼児を遠ざける

禁止



正しく取り付けないと、以下のようなことがおこります。取り付けは専門業者にご依頼ください。
- テレビが落ちると、打撲や骨折など大けがの原因となります。
- 強度の弱い壁や、平面ではなかったり垂直ではない壁に取り付けた場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。壁は、少なくともテレビ重量の4倍に耐えられる強度が必要です。（テレビの重量は10ページのテレビ取り付け寸法表をご覧ください。）
- 壁への取り付けがもろい場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。

テレビの移動や取りはずしは、専門の業者に依頼する

専門業者以外の人が移動や取りはずしを行うと、テレビが落下したりして、けがや破損の原因となることがあります。また、移動や取りはずしは、必ず2人以上で行ってください。

テレビに水などの液体をかけない

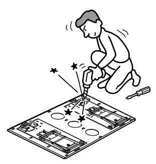
水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となります。

テレビを取り付けたあとはネジなどをはずさない

テレビが落ちて、けがや破損の原因となります。

取り付け部品の分解、改造、変更は行わない

禁止



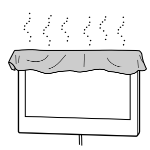
壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となることがあります。

指定機器以外のものを掛けない

この壁掛けユニットは指定機器専用です。指定機器以外の物を掛けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

テレビの通風孔をふさがない

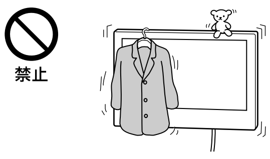
禁止



テレビの上に布などをかけて通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

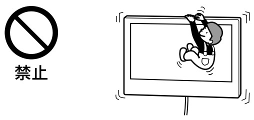
テレビ以外の荷重を掛けない

落下によるけがや破損の原因となることがあります。



テレビに寄りかかったり、ぶら下がったりしない

テレビがはずれ、下敷きになり大けがの原因となることがあります。



テレビを雨や湿気にさらさない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となります。

湿気やほこり、湯気の多い場所、機械的振動の多い場所に置かない

火災や感電の原因となることがあります。

火のついたロウソクや燃えやすい物を近くに置かない

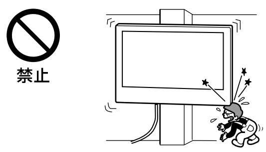
火災を防止するために、テレビから離れた所に置いてください。

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

テレビがはみ出すような取り付けはしない

壁掛けユニットを、柱などのテレビがはみ出してしまうような場所には取り付けないでください。身体や物などがぶつかってけがや破損の原因となります。



掃除やお手入れのときは、力をかけない

掃除やお手入れのときに、テレビの上面に手を置いたり、力をかけたりしないでください。テレビの落下によるけがや破損の原因となります。

エアコンの上や下にはテレビを取り付けない

送風などで直接、風が当たり続けたり、水もれによってぬれたりすると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用上のご注意

- 壁掛けユニットにテレビを長期間取り付けてご使用されたときは、壁の材質によっては、テレビの放熱により、背面や上面にあたる壁面が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
- 壁掛けユニットをいったん取り付けると、はずした場合に、壁にネジ穴の跡や壁掛けユニットの取り付け跡が残ります。
- 壁の中に300Ωフィーダー線をすでに使っている場合は、壁の中の300Ωフィーダー線を75Ω同軸線に変更することをおすすめします。
  やむを得ず300Ωフィーダー線を使用する場合は、設置工事を始める前に、テレビと壁の中にあるフィーダー線との距離が充分に確保できているかを確認してください。
  また、雑音電波などの影響がでない場所などを事前に設置業者の方とご確認のうえ、工事を始めてください。

壁掛けユニットを取り付ける

販売店様・特約店様用

⚠警告　お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実に取り付けを行ってください。

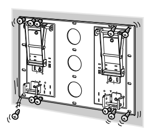
販売店様・特約店様へ

以下の説明は、サービス専用です。安全上のご注意をよくお読みの上、設置および保守･点検などを安全に行ってください。

取り付け手順に従って、しっかり取り付ける

ネジがゆるんでいたり抜けていたりすると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因となります。壁の材質に合ったネジ(M8相当4本以上)で、しっかりと固定してください。





付属品のネジおよび取り付け金具は、取扱説明書の使用方法を守ってご使用ください。また、取扱説明書にない代替品を使用すると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

組み立て手順に従って、正しく組み立てる

ネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ネジは指定された位置にしっかりと締め付ける

テレビが落下して、けがの原因となることがあります。

取り付け作業中にテレビに衝撃を与えない

テレビが落下したり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

垂直で平らな壁面にテレビを取り付ける

垂直ではなかったり、平らではない壁面に取り付けると、テレビが落下して、けがの原因となります。

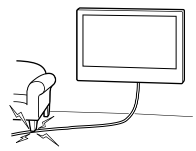
取り付け作業が適切に完了したら、ケーブル類を固定する

ケーブル類を足に引っかけたりすると、けがをしたり、テレビを破損したりすることがあります。

電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

電源コードおよび接続ケーブルを壁面にはさんだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となります。





取り付けるときには、手や指を傷つけないように注意する

壁掛けユニットやテレビを取り付けるときに、手や指を傷つけないようにご注意ください。

壁掛けユニットを壁面に固定するネジは付属しません

壁の材質や構造に適したネジをご使用ください。

表紙に記載のある指定機器以外をご使用のときは、必ずテレビ本体付属の別冊「本機を壁にかけて使う」をあわせてご覧ください。

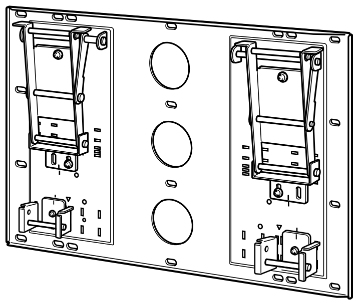
ちょっと一言

テレビ本体付属の取扱説明書をお持ちでない場合は、ソニーのホームページよりダウンロードいただくか、お客様ご相談センターまでお問い合わせください。ホームページとお客様ご相談センターについては、裏表紙をご覧ください。

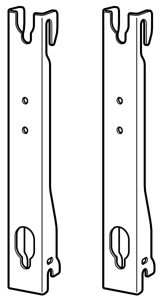
手順1：取り付けに必要な部品を確認する

1 取り付ける壁の材質に合ったM8相当4本以上のネジ（付属品ではありません）とドライバーを用意する。

2 梱包を開いて、部品を確認する。



プレートユニット（1）



マウンティングフックユニット（2）



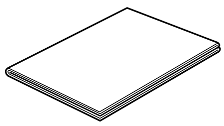
フック（4）



ネジ（＋B6×L20）（2）



ネジ（＋PSW5×L16）（6）



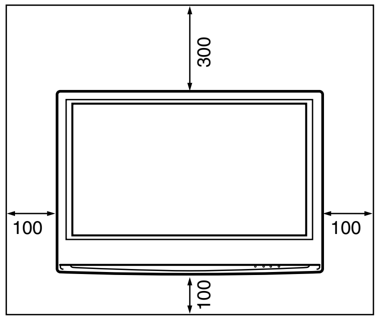
型紙（1）

手順2：取り付け位置を決める

1 垂直で平らな壁面に、付属のプレートユニットの型紙をあて、テレビ取り付け寸法表（☞10ページ）を参照して、それぞれのテレビに合った取り付け位置を決める。

テレビの周囲には、次の図に示す寸法のあきが必要です。

単位：mm



ご注意

壁の中にケーブル類を配線する場合は、あらかじめ壁に穴を開け、配線できるかをお確かめください。穴の位置は11ページの壁面加工用寸法図に示されています。

2 11ページの壁面加工用寸法図を参照して、プレートユニット取り付け用のネジ穴位置を確認する。壁の中にケーブル類を配線する場合は、穴を開ける位置も確認し、壁面加工を行う。

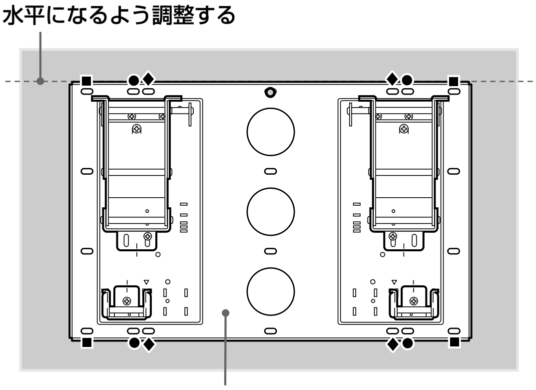
⚠警告

取り付ける壁にはテレビ重量の4倍に耐えられる強度を要します（☞10ページ）。取り付け位置の壁面強度をご確認ください。強度が不足する場合は、充分な補強を行ってください。

手順3: プレートユニットを壁に取り付ける

1 **プレートユニットをM8相当4本以上のネジ(付属品ではありません)で固定する。**

次の図で示す同じ印のネジ穴を少なくとも4か所選び、ゆるみがないようにしっかりとネジ留めしてください。



⚠警告

- 壁掛けユニットを壁面に固定するネジは付属しません。必ず、壁の材質や構造に適したネジをご用意ください。
- 強度不足のときはネジを追加してください。
- プレートユニットが確実に壁に取り付けられたかを確認してください。

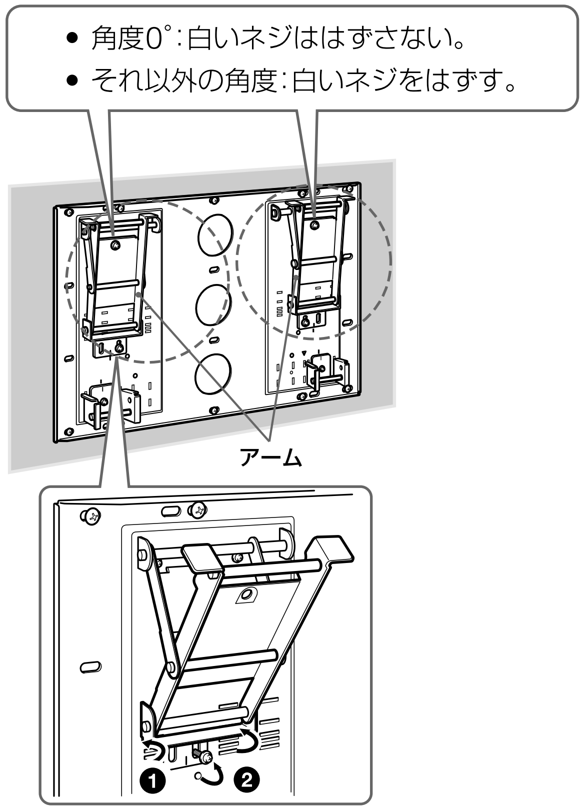
2 **アームの角度を調整する。**

テレビを垂直に取り付けて使用する場合(0°)は、角度調整(以下❶❷)をする必要はありません。アームがしっかりとネジ留めされているかを確認してください。

❶ 左右アームのそれぞれまん中にある上下2本のネジをはずして、変えたい角度のきりかきにアームを付け替える(5°、10°、15°、20°)。
❷ アームの下側を❶ではずしたネジでしっかりと固定する。

ご注意

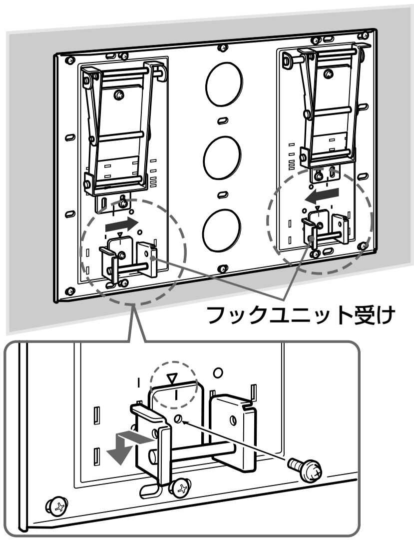
- 左右のアームは必ず同じ角度に調整してください。
- アーム付け替えの際は、指をはさまないようにご注意ください。
- 電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ2N・m{20Kgf・cm}に設定してください。
- アームがしっかりとネジ留めされているかを確認してください。



3 **KDL-46X1000またはKDL-40X1000の場合、フックユニット受けの付け替えは不要です。「手順4:テレビの取り付け準備をする」へ進んでください。表紙に記載のある指定機器以外をお使いの場合は、必ずテレビ本体付属の別冊「本機を壁にかけて使う」をあわせてご覧ください。**

フックユニット受けを付け替える。

❶ 左右のフックユニット受けのネジをはずして、それぞれ内側のきりかきにフックユニット受けを付け替える。KDL-40V1000またはKDL-40S1000の場合は、フックユニット受けの刻印がプレートユニットの▽の位置に合うように付け替える。
❷ ❶ではずしたネジでフックユニット受けをしっかりと固定する。



ご注意

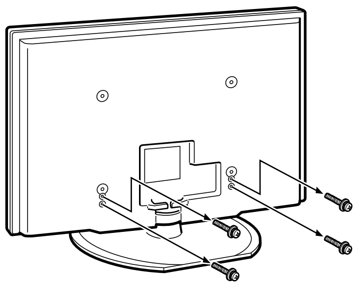
- 電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ2N・m{20Kgf・cm}に設定してください。
- フックユニット受けがしっかりとネジ留めされているかを確認してください。

手順4：テレビの取り付け準備をする

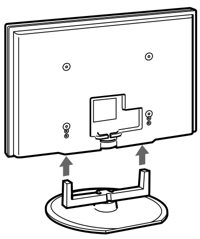
準備の方法は、お使いのテレビによって異なります。
お使いのテレビに必要な準備内容を本ページでご確認のうえ、取り付け準備をしてください。
表紙に記載のある指定機器以外をお使いの場合は、必ずテレビ本体付属の別冊「本機を壁にかけて使う」をあわせてご覧ください。

下記1、2のスタンドをはずす作業は、KDL-40V1000またはKDL-40S1000の場合のみ必要です。
（イラストのテレビは、KDL-40S1000です。）

1 テレビ後面のネジ4本をはずす。

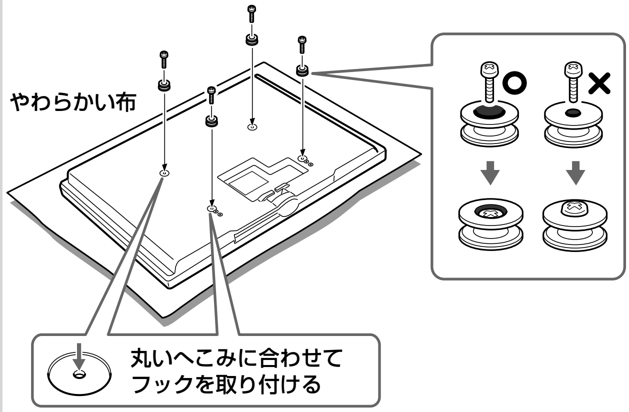


2 スタンドからテレビ本体を引き抜く。

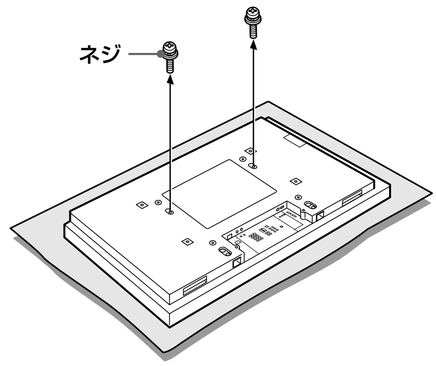


3 マウンティングフックユニット取り付けの準備をする。

❶ 平坦な床にやわらかい布などを敷き、その上にテレビ本体を置いて、フック（付属）4つをネジ（付属＋PSW5×L16）4本で取り付ける。



❷ KDL-46X1000の場合のみ、テレビ後面のネジ2本をはずす。



ご注意

電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ2N・m{20Kgf・cm}に設定してください。

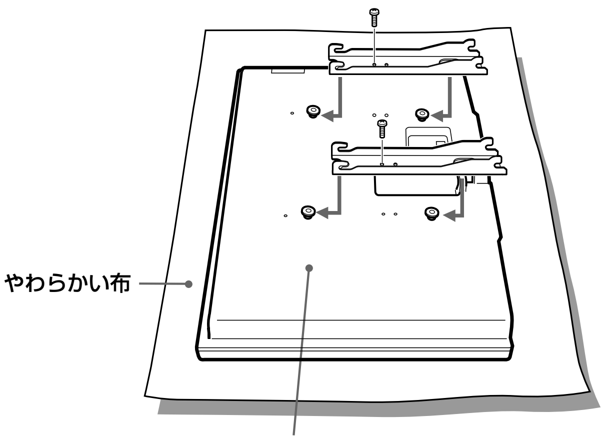
手順5: テレビを取り付ける

表紙に記載のある指定機器以外をお使いの場合は、必ずテレビ本体付属の別冊「本機を壁にかけて使う」をあわせてご覧ください。

⚠警告

すべての作業が終わるまで、電源コードをコンセントにつながないでください。機器などに電源コードをはさみこむと、ショートして感電する恐れがあります。また、電源コードやテレビを足に引っかけると、転んでけがの原因となることがあります。

1 テレビ後面のフックにマウンティングフックユニットを引っ掛けてスライドさせ、付属のネジ(＋PSW5×L16)でしっかりと留める。



2 テレビに、付属の電源コードおよび接続ケーブルをつなぐ。

テレビの後面に電源コードおよび接続ケーブルをつないでください。接続のしかたについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。

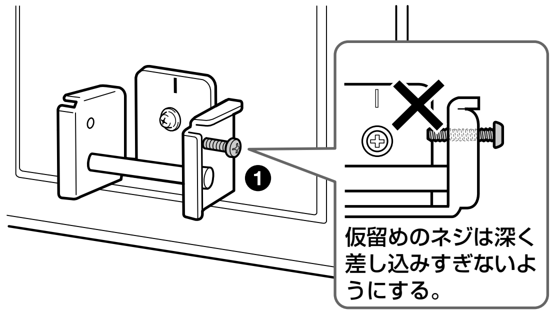
壁の中にケーブル類を配線するときは、用意した穴(☞11ページ)にケーブル類を通してください。

ご注意

- テレビをプレートユニットにいったん取り付けると、ケーブル類をつなげなくなります。
- 壁の中の配線、電気工事は専門業者にご依頼ください。

3 テレビをプレートユニットに取り付ける。

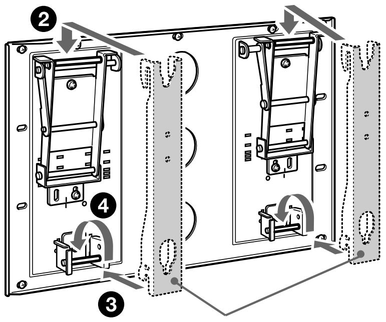
❶ 左右のフックユニット受けに、マウンティングフックユニット抜け止め用のネジ(付属＋B6×L20)をそれぞれ外側から差し込み、仮留めする。



ご注意

マウンティングフックユニット抜け止め用のネジを仮留めするとき(❶)、ネジがフックユニット受けの内側に飛び出していると、マウンティングフックユニット下側のフックを掛けることができません(❹)。

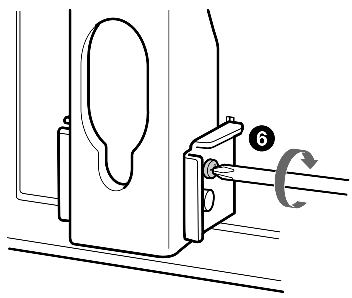
❷ マウンティングフックユニット上側のフックをアームの横軸に掛ける。
❸ マウンティングフックユニット下側のフックをフックユニット受けの横軸にあてる。
❹ テレビをプレートユニット側に押しあてながら、下から少しずつ持ち上げて、マウンティングフックユニット下側のフックをフックユニット受けの横軸に掛ける。
❺ 8か所のフックが確実に掛かっているかを確認する。



❻ ❶で仮留めした抜け止め用のネジ左右各1本をしっかりと締め付ける。

⚠警告

抜け止め用ネジ(左右各1本)をしっかりと締め付けてください。このネジの締め付けが不充分だとテレビが上に押されたとき、壁掛けユニットからはずれ、落下によるけがの原因となります。



取り付け完了を確認する

以下の最終確認を行ってください。

- マウンティングフックユニットのフック8か所が軸に確実に掛かっていますか。
- ケーブル類がねじれたりはさまったりしていませんか。
- フックユニット受けの抜け止め用のネジ2か所は確実に締められていますか。

⚠警告

不完全な取り付けは、製品の落下によるけがや破損の原因となります。また、電源コードなどの不適切な処理は、ショートによる感電や火災を引き起こす恐れがあります。安全のために確認作業を確実に行ってください。

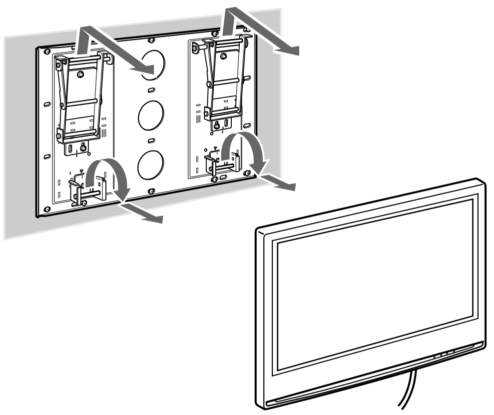
テレビをはずすには

販売店様・特約店様用

1 **コンセントから電源コードを抜く。**

2 **左右のマウンティングフックユニット抜け止め用ネジ2本をはずす。**

3 **テレビを2人以上で持ち、上に持ち上げてはずす。**

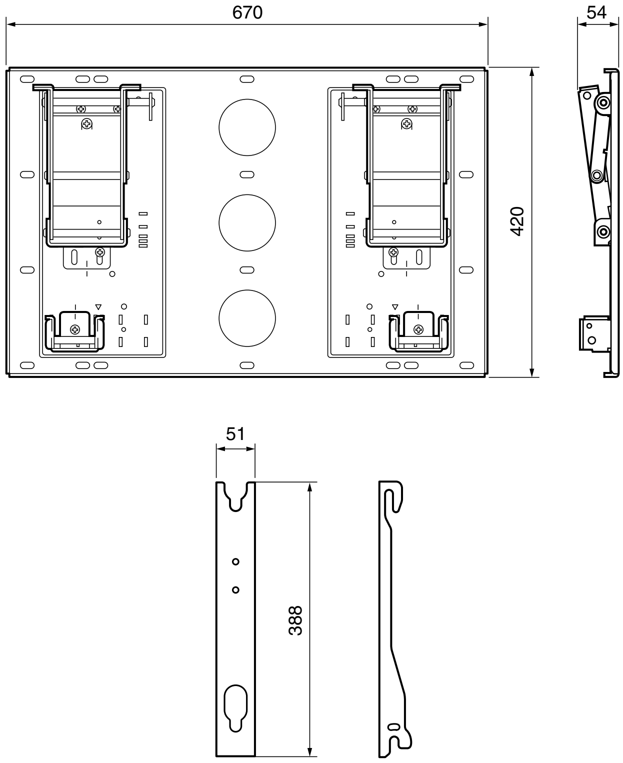


⚠警告

- テレビは、必ず2人以上で持って移動させてください。
- テレビをはずすときは、ケーブル類を引っ掛けないようにご注意ください。
- テレビをはずすときは、手や指を傷つけないようにご注意ください。

主な仕様

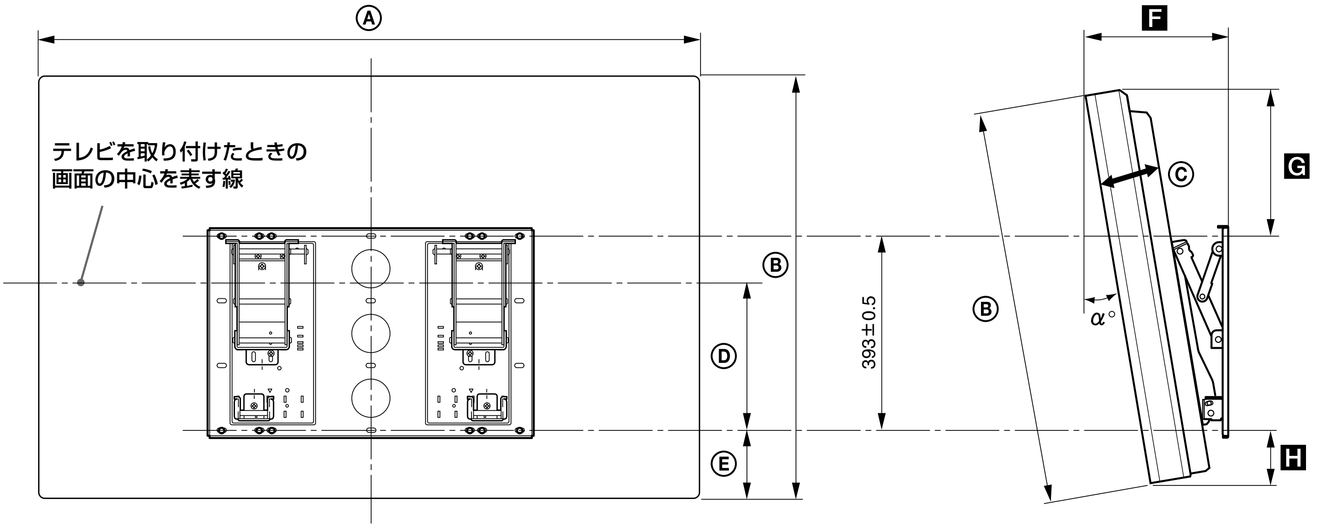
単位：mm
質量：9.5 kg



本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

テレビ取り付け寸法表*1

本製品にテレビを取り付けると、それぞれ下記寸法表に記載の数値になります。この寸法表を参考に壁に取り付ける位置を決めてください。
表紙に記載のないテレビを取り付けるときは、必ずテレビ本体付属の別冊「本機を壁にかけて使う」をあわせてご覧ください。

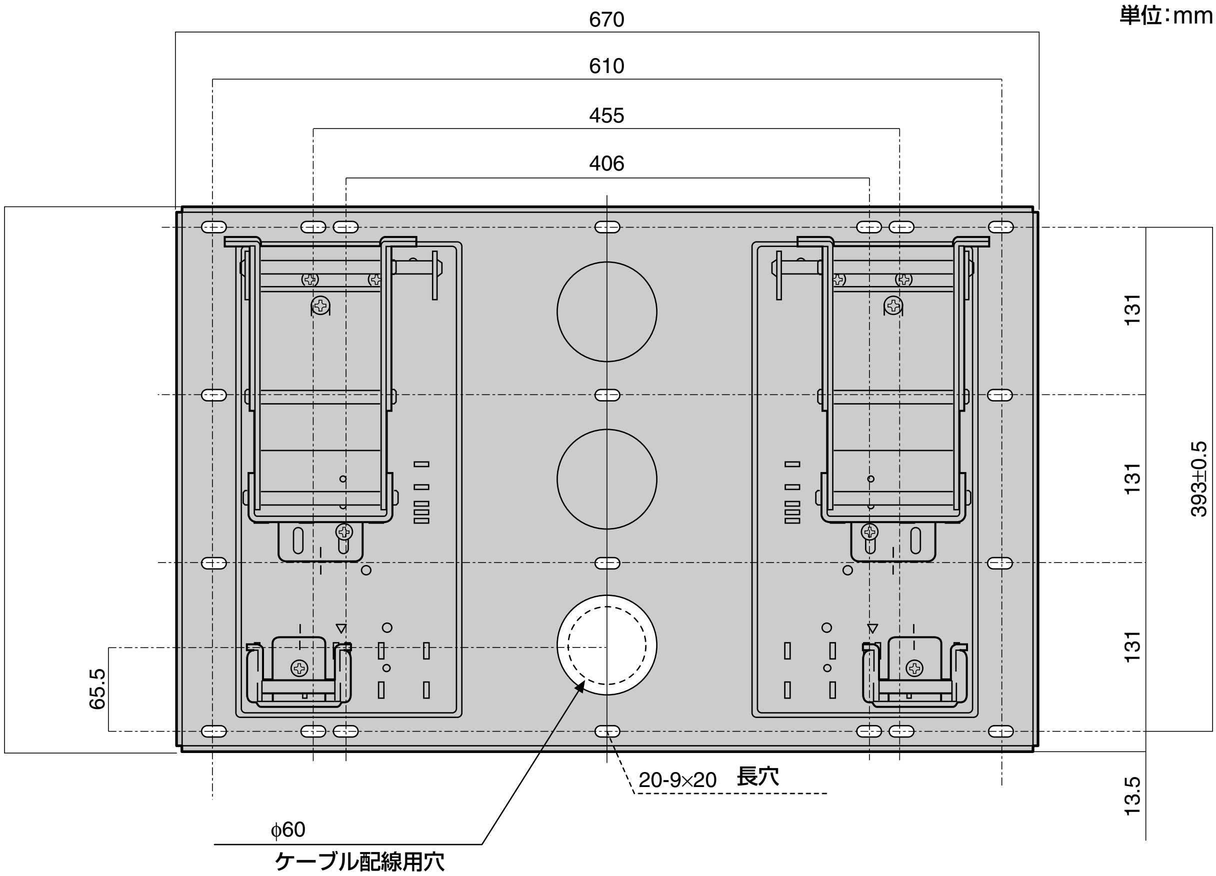


テレビ型名	テレビ寸法(0°) 単位:mm					取り付け角度による長さ 単位:mm				重量
	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ	取り付け角度(α°)	F	G	H	(×4)*2
KDL-46X1000	1250	701	109	286	71	0°	164	237	71	37.6 (150.4) kg
						5°	215	229	81	
						10°	263	216	91	
						15°	310	199	99	
						20°	356	178	107	
KDL-40X1000	1120	624	106	247	71	0°	161	160	71	30.2 (120.8) kg
						5°	205	153	81	
						10°	246	141	90	
						15°	287	125	99	
						20°	327	106	106	
KDL-40V1000	1015	684	122	286.5	90	0°	181	201	90	25.9 (103.6) kg
						5°	229	190	100	
						10°	274	174	111	
						15°	319	155	121	
						20°	361	132	129	
KDL-40S1000	999	693	103	310.5	86	0°	162	214	86	26.5 (106) kg
						5°	211	206	95	
						10°	259	194	104	
						15°	305	177	112	
						20°	349	156	119	

*1 取り付け寸法は取り付け状態により若干異なることがあります。
*2 取り付ける壁にはテレビ重量の4倍に耐えられる強度を要します。

壁面加工用寸法図

単位：mm



● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ········0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は　03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX····················0466-31-2595
受付時間 ：月〜金 9:00〜20:00　土・日・祝日 9:00〜17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

この説明書は、古紙 70％以上の
再生紙を使用しています。

Printed in Japan